



世界に希望を生み出そう

Rotary International District 2800

山形西ロータリークラブ会報

会長：長澤 裕二 幹事：三沢 大介

地区目標 ロータリーを語ろう そして ロータリーを楽しもう

クラブテーマ 新会員を育てながら、ロータリーを楽しもう

◆点鐘：長澤 裕二 会長 ◆ロータリーソング：国歌・蔵王を仰ぐ
◆司会：武田 秀和 S.A.A. ◆会場：山形グランドホテル



第2988回例会

令和5年8月7日(月)

会長あいさつ

長澤 裕二 会長



93年の年、フォーラムを始めて9年目の時なんですけれど、東北のニュービジネス協議会というところから第1回アントレプレナー大賞というのをいただきました。次の年、日本のニュービジネス協議会、国の全体の会のほうから、アントレプレナー特別賞というのをいただきました。アートな映画も含めて上映するような映画館を、会員組織を作る、映画館を会員として組織することで、山形、福島、盛岡と東北の各地の街にそういう映画館を作ったということでの表彰でした。

そういう賞をもらって、順風満帆なんでしょうけれど、その時から苦しい時期が始まってしまっていて、シネコンの時代が変わったんですね。シネコンができちゃうと今まであった映画館がほとんど廃業せざるを得ないという実態が見えてきて、「じゃあ山形どうする？」ということになって。それまで私たちがやっていたフォーラムというのは飲食しない映画館でした。静かに映画を観るということに徹底してもらっていたので、そこがシネコンを作るというのはどういうことなのかちょっとピンとこなかったですね。

シネコンが来たらもう終わっちゃう。もう映画館を続けることができないとなっちゃって、じゃあシネコンが来ないようにするためには自分たちでシネコンを作るしかない、と思って、そこからシネコンの勉強をしてソラリスをオープンすることになりました。

1つ問題があったのは、ライバル企業である宮崎合名社も山形市内でシネコン化しなくちゃならないということを考えていたんですね。じゃあどのくらいの規模でどの程度でやっていけばお互い両立するのか。商売の中の自分たちが頑張っていく部分と相手が生きる部分、そういうバランスを考えながらやらなくちゃならない。なのでソラリスというのはそういう意味でちょっと小さくしたんですね。なぜかと言うと、お互い生き残れる規模に小さくしちゃいけないと思ったからです。それで6スクリーン650席、これは全国的にも割と小さなシネコンなんです。

その後、宮崎合名社の映画事業を引き継いだムービーオンという会社が山形の嶋地区にシネコンをオープンして、そのあと東根地区にフォーラムもオープンして、天童には今度イオンシネマがオープンしてと、山形はもうシネコンラッシュでした。石川県が人口あたりのシネコン数、映画館の数が全国で1番多いそうです。山形県は2番目だそうです。30いくつ、40近くのスクリーンが山形地区には今あります。

宮崎駿の『君たちはどう生きるか』が始まって、すごい流

行っているんです。だけど目立たないんです。満杯になることはないんです。山形地区の映画館どこもそうみたいです。お客さん結構来てね。来てはいるんだけどいっぱいになることはありません。そういう状態が続いています。だからこそ山形県の映画館も頑張れるのかなと思っています。

幹事報告

三沢 大介 幹事

- 本日、米山奨学生のチャンピンさんにお越しいただいております。会長より奨学金をお渡しをお願いいたします。
- 本日の例会終了後に理事会を開催いたしますので、関係者の方はお残りください。
- 今月のロータリーレートは141円です。「レートってなに？」という新会員の方もいらっしゃるようで、改めて説明しますと、ロータリー財団に寄付する際、例えば100ドル寄付という目標額があった時に、ロータリーレートが1ドル141円だとすると、14,100円お支払いいただいて初めて100ドル寄付になるというレートになります。これは毎月変わりますので、なるべく円高に近い為替レートのほうが日本円としては安く寄付できるということで、毎月月初めに為替レートを皆さんにお伝えしております。

委員会報告

親睦・家族委員会

- 会員7名、奥様が9名、8月に誕生日を迎えられます。おめでとうございます。

ニコニコBOX

〈8月7日〉

長澤裕二会長／君たちはどう生きるか

例会の前に、今日午前中観てきました。2回目です。宮崎駿監督の遺言です。あと何回か観ることになると思います。

三沢大介さん／武田良和副幹事

武田良和副幹事としばらくぶりに例会でお会いでき、幹事としてとても、大変嬉しく、心強いです。

鈴木隆一さん／祝、孫誕生！

8月3日、長男夫婦に第2子長男が誕生しましたのでニコニコします。

委員会活動方針発表



浦山 潔 クラブ広報常任委員会理事

当委員会は及川委員長率います会報委員会、遠藤委員長率います広報雑誌委員会、佐竹委員長率います史料管理委員会の3委員会の委員会で活動してまいります。

本クラブの1年間の活動を一般の方々に情報提供するとともに、正確な記録を残し、西クラブの活動をしっかり支える大切な委員会でございます。長澤会長の方針に沿って各委員長さんを中心に大いに力を発揮していただきたいというふうに思います。

それと同時に、委員会内では親睦を促進し、楽しく委員会活動をしていただきたいと思います。どうぞ西クラブの皆さまにおかれましては、今年1年、皆さまのご協力がなければいい活動ができませんので、どうかお力添えをよろしくお願い申し上げます。計画発表とさせていただきます。ありがとうございました。

.....



及川 善大 会報委員会委員長

委員会のメンバーですが、副委員長に坂部登さん、委員に鈴木謙司さん、伊藤歩さん、八柳祐二さんです。毎回委員会ゆえに不慣れな委員長をサポートしてくださっており、大変ありがたく思っております。

会報委員会は行われた例会の記録を取りまとめ、次回例会までに会報として印刷して配布する役割を担っており、今後に残る史料を作成する意味でも重要な立場であると認識しております。会長挨拶や卓話などは可能な限り省略せずに掲載するとともに、適宜写真なども活用して、例会の様子がしっかりと伝わるように心がけたいと思います。また、会報については、山形西ロータリークラブのホームページにもPDFファイルで掲載がされておりますが、ホームページのアップデートもなるべく早い時間でできるようにしたいと考えております。

会員の皆さまにおかれましては、会報にぜひ目を通していただき、内容について随時ご意見をいただければ幸甚でございます。1年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

.....



佐竹 耀光 史料管理委員会委員長

史料管理委員会の委員長を仰せつかりました佐竹耀光と申します。初めての委員長ということで、大変緊張しております。よろしくお願いいたします。副委員長として小林恵一様、委員として柴田健一様、そして委員として岡田宏道様の合計4名で行いたいと思います。

事業内容は、70周年に向けて史料を整理、保存を行います。私事ですけれども、今までで一番怖い映画は『シャイニング』でした。以上でございます。ありがとうございました。



遠藤 直樹 広報雑誌委員会委員長

今年度、広報雑誌委員長を拝命しました遠藤直樹と申します。初めて委員長を拝命し、緊張しておりますが、ご挨拶させていただきます。本年度、広報雑誌委員会のメンバーは、副委員長に吉田福平会員、委員に大貫良一会員、荒井敏夫会員となっております。大変心強いメンバーかと思っております。

広報雑誌委員会の活動の柱としましては、『ロータリーの友』、『ガバナー月信』の見どころ、西クラブの記事、会員の投稿、西クラブホームページの更新情報などについて例会場について皆さまにご報告することになります。ほかにもアオモリトドマツの再生など、西クラブの活動を一般の方々にも知ってもらうため、メディアへの取材依頼などにも対応したいというふうに考えております。

広報雑誌委員会の活動の柱としましては、『ロータリーの友』、『ガバナー月信』の見どころ、西クラブの記事、会員の投稿、西クラブホームページの更新情報などについて例会場について皆さまにご報告することになります。ほかにもアオモリトドマツの再生など、西クラブの活動を一般の方々にも知ってもらうため、メディアへの取材依頼などにも対応したいというふうに考えております。

私自身まだまだ未熟でございますけれども、精一杯取り組んでいきたいと思っております。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

.....



佐藤 英一 青少年委員会委員長

青少年委員会の委員長を仰せつかった佐藤英一です。まだ飲食の場と、私の場合喫煙所が、人の集まるところの出入りが制限されておまして、なかなか参加できない現状ではありますが、やれる範囲でがんばらせていただきますのでよろしくお願いいたします。青少年委員会のほうは、副委員長に結城和生さん、委員のほうに細谷さん、大沼さん、角田さんとお歴々おりますので、私が動けない部分はカバーしていただくかもしれませんので、ひとつよろしくお願いいたします。

今年度は、先ほど理事のほうからもありましたように、青少年育成事業の一環として、毎年おこなっております山形県の東南村山地区の中学校・高校生の英語の弁論大会のほうを支援していくということで、例年9月に行われておりますので、今年度も同じように支援を継続していきます。

来年になりますけれども、全国規模の山形会議が2つ予定されておまして、全国のローターアクト研修会山形会議が来年の3月23日、もう1つ、国際ロータリー日本青少年交歓研究会山形会議が来年の5月11日と、大きな研修会が山形で開催されるということで、私、昨年まで地区のインターアクトに行っていましたけれども、今回は山形西としてご協力できることはないかというようなところで話しかけをしていきたいと思っておりますので、交換留学生を引き受けるとか大きなことにならないような範囲でがんばって協力していきたいなと思っております。私だけ制限がある中ではありますが、精一杯がんばりますので、ひとつよろしくお願いいたします。



戸田 正宏 奉仕プロジェクト常任委員会理事

奉仕プロジェクト常任委員会は、社会奉仕委員会、青少年委員会、そしてニコニコボックス委員会の3つの委員会からなります。

社会的な奉仕活動は全ロータリークラブ活動の中で一番の肝だと思えます。社会一般に向けて我が西ロータリークラブがどんな活動をしているのか、外向けに「我がクラブはこんなことに取り組んでいます」と情報発信できるのが奉仕プロジェクトです。その意味でも、世間が注目する分かりやすい奉仕活動に取り組む必要があると思います。世間の耳目、特にほかのロータリークラブが西ロータリークラブはどんな社会奉仕活動をするんだろうということを見えています。

我が西ロータリークラブは3年前から蔵王の観光資源であり、シンボリックな存在の蔵王の樹氷の再生に取り組んでいます。東海林年度の時に問題を提起し、市村年度では実際にどんな状況になっているのか蔵王の山頂に出かけ、凄惨な樹氷林の姿を見てきました。そして今年度、長澤年度ではその樹氷再生に向けて具体的な行動を起こします。その具体的な事業はこのあと社会奉仕委員長の高嶋さんに説明してもらいます。よろしくお願いいたします。

もう1つの柱、青少年委員会は、少子高齢化の時代にあって、1人1人の青少年の健全育成に取り組んでまいります。今年度も国際社会に十分通用する青年の育成を応援するために、中学・高校生英語弁論大会の支援をします。必ずや明日の日本国のために貢献してくれる人材がそこで育ってくれるのかなと信じております。これも後ほど青少年委員長の佐藤英一さんに説明してもらいます。よろしくお願いいたします。

これら社会奉仕、青少年活動の財源を担うのがニコニコボックス委員会です。皆さん、毎日ニコニコして生活していますか。ブスーとした顔で生活していないでしょうか。ニコニコした笑顔は幸運を招きます。そして思わぬ良いことが起きます。一寸先は闇ではなく光です。ぜひそのことを思い浮かべながら良いことを実践していただきたいと思います。そして良いことが起きたらニコニコしてください。よろしくお願いいたします。ニコニコはニコニコを呼びます。幸運の連鎖反応を味わって良い人生を送ってください。今年のニコニコボックス委員会は委員長が角田さんです。なかなか角田さん、今年度特別なことを考えているようです。今年の委員長は出だしが最高に良くて、金集めが上手だなと思っております(笑)。皆さんも角田さんのニコニコに騙されて、たくさんさんのニコニコをお願いしたいとお願い申し上げます。では今年1年、皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。



高嶋 俊幸 社会奉仕委員会委員長

今年度社会奉仕委員長を仰せつかりました高嶋俊幸と申します。よろしくお願いいたします。委員のメンバーに、副委員長に武田元裕さん、委員に早川さん、

小松さん、小林さんということで、非常に心強いメンバーを集めていただきまして、ありがとうございました。

樹氷の再生ということで進めていく予定なんですけれども、今回、今年度は地区の補助金を使って樹氷の再生に取り組むということで、すでに申請して承認は下りております。それで補助金申請に関わって三沢幹事と県の方という話し合いながら取り組ませていただいていたんですけど、3月、4月に年度が変わって県の担当者ががらっと変わってしまったというところで、先日お会いしに伺ったのですが、やはり県のほうは県民会議を主力としてしまして、そこにワーキングチームというか、ワーキンググループがあります。そこがやはり実行部隊というか、そういう位置付けになっていますので、例えばロータリーと組んで何かをしようとすることは、そこを飛び越えていってしまうというところで、なかなか関わりが難しいというところの実情がわかりまして、このまま県と何かをやろうとしてもなかなか難しいなということもあったので、武田元裕さんにご尽力いただいて、元裕さんと三沢幹事と私の3人で山形の森林管理署の益田署長さんにお会いしてきました。それでお話をさせていただいて、西ロータリーの思いを伝えさせていただきました。署長さんのほうも非常にありがたく受け取っていただいていたしまして、何か考えてみますというお言葉をいただきました。

どちらかというと派手さというか、何か表に立って西ロータリーが、今年度はですけど、取り組んでいくということよりは、例えば森林管理署さんのほうも、やっぱりマンパワーが足りない。やはり実証実験、トライアンドエラーを繰り返しながら再生に向けてどういうふうにして取り組んでいこうかということを考えていらっしゃるの、その、例えば笹刈り1つをとってもやっぱりマンパワーが足りないということで、なかなか畑を開墾して県がやっける隣に西ロータリーが畑を作って種を植えてみたいなのは、ちょっと表立ってはできないので、例えば実証的に今標高1,400メートルで作っているものを例えば山頂に持って行って種植えしたらどうなんだとか、あと、今枯れているアオモリトドマツの周りを笹刈りしてそこに稚樹を植えてみてどうなるんだとか、要はそういった、じゃあ笹刈りは誰がするんだという、手鎌で刈らないといけないんですね、そういうのはやっぱり。ちっちゃい範囲なので草刈り機でバーンと行けないので、そういうちっちゃな手鎌で笹刈りをするとか、そういう人材というかそういうマンパワーが足りないという状況もありますので、今後は森林管理署さんのほうと連絡を取りながら、連携を取りながら何か進めていこうかなというふうな今のところは考えています。うまくいくかどうかちょっとわかりませんが、がんばっていきますので、1年間よろしくお願いいたします。ありがとうございます。



角田 健 ニコニコボックス委員会委員長

今年度ニコニコボックス委員会委員長を仰せつかりました角田健でございます。デジタル化ということもありまして、今まで皆さまから手書きで書いていただ

いているものにプラスして、今年度からグーグルフォームというものを取り入れさせていただきました。今皆さまのお手元に配られているニコニコボックスのほうにQRコードがございます。携帯でも入力できますので、自分がニコニコと気づいた時に入力をして送信していただければ、私のほうにそのリストが集まるということになりますので、どんな小さなことでもそのニコニコがあったなという時にタイミングよく書き込んでいただけるような仕組みも導入いたしました。

それからビアパーティの時にバドガールとホッピーガールに付いて皆さまのニコニコを伺いながら頂戴いたしました。そういった小さなことでも少し皆さまの喜びを受け取って、それがまた循環させていただければと思いますので、どうぞご協力のほどよろしくお願いいたします。



佐藤 啓 ロータリー財団委員長

ロータリー財団委員長の佐藤と申します。今年1年間どうぞよろしくお願いいたします。

ロータリー財団は非常に難しくわかりづらい部分もたくさんございますので、委員会としましてはそのロータリー財団のさまざまな取り組みに関して皆さまにご紹介をして、理解を深めていただきたいというふうに思っております。そして寄付の目標額の達成に向けて取り組んでまいりたいと思います。ロータリー財団の月間が11月にありますので、その際にはゲストスピーカーをお招きして、財団の使命や取り組みについてのご理解をいただけるように努めてまいりたいというふうに思っております。

皆さまには1人100ドルの特別寄付というご協力をお願い申し上げたいというふうに思います。今、円安基調が続いておりますので、必ず今年円高の波がやってまいります。そのタイミングを逃さないようにニコニコボックスなどを利用して「今だ」というサインを出させていただきますので、どうぞ皆さまご協力のほうよろしくお願いいたします。



中山 眞一 ロータリー財団米山奨学会常任委員長

ロータリー財団米山奨学会常任委員長理事の中山でございます。RI会長は「世界で良いことをしたい」と願う人が参加できるロータリーを目指しておられるということでもあります。ロータリー財団は、奉仕を動かす燃料であるというふうに位置付けています。ご承知のとおり、ロータリークラブというのは、国際的組織に参加しています。せっかくこのロータリーに入会しておられますので、世界で良いことをしていることに参加していただきたい。参加していただくということは、寄付をしていただきたいということでございます。

世界で良いことをというのは具体的にどういうことかといえますと、ポリオ根絶活動が代表的なものであります。常在している国、パキスタン、アフガニスタンは、アメリカでポリオ患者が発生したり、イギリスの下水からポリオウイルスが検知されたという状況にあるということでありまして、今まで以上にこのロータリープログラムは重要性を増しているという状況にあると思います。

ご理解していただきたいのは、財団は苦勞しているもので、現在では少なくとも慈善団体の格付けを行う独立機関のチャリティーナビゲーターからプログラムと運営に充てられる割合が89%、約9割にも達しているということなどから、最高ランクの評価を受けているということでもありますので、使い道等安心して、ひとつ皆さま寄付をお願いしたいと重ねてお願い申し上げます。

米山記念奨学事業につきましては、これは皆さまご承知ですが、国内最高規模の民間国際奨学団体で、日本が世界に誇る国際奉仕事業でございます。今年度は米山奨学生の受け入れ世話クラブでもあります。こちらのほうもぜひ、地区の委員長さんもおられますので、よろしくご協力をお願いします。

最後になりますが、今年度は長澤会長の方針に従い、佐藤啓ロータリー財団委員長さんと芦野米山奨学会委員長とともに努力してまいりますので、どうぞご協力よろしくお願いいたします。ありがとうございました。



芦野 茂 米山奨学会委員長

本年度も米山委員長を仰せつかりました芦野と申します。メンバーには、副委員長に酒巻さん、委員には伊藤先生、清野会長、飯田さんと、大変心強いメンバーを厳選していただきまして、ありがとうございます。

今年度は世話クラブとしてチャンピンさんをカウンセラーの横沢さんとともにいろいろと地区で活躍していただいております。あと、鶴岡の公益大学の学友会のデンさんをお招きして、西クラブでお世話させていただいております。担当が酒巻さんになっておりますので、何か事あるごとにお呼びしながら交流を深めていきたいなと思っております。

ぜひ米山奨学会にもご寄付のほう、特別寄付として1万円をお願いできればなと思っております。以上、私のほうからお願いでした。

本日出席（8／7）	会員総数	出席会員数
	102名	59名